

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二二七二〇七

# 一切の責任を国鉄労働者に転嫁する反動「提言」

国鉄再建監視委員会は八月十日、国鉄の「分割・民営化」＝国鉄解体を骨子とする、第二次「緊急提言」を中曽根に提出した。

この第二次「緊急提言」なるものは「国鉄再建」の名のもとに崩壊の危機に直面した経営のあり方について、これまで政府・自民党・財界が喰いものにしてきた責任をいっさい覆いかくし、一挙的に国鉄解体＝国鉄労働運動破壊を明らかにしたものであり、「分割・民営化」の強行をもってすべての犠牲を国鉄労働者に転嫁しようとするものである。

われわれは、こうした「第二次緊急提言」を天をつく怒りをもって弾劾するものである。

## 赤字の根本原因を隠へいした「提言」

「第二次緊急提言」は、第一に国鉄再建の基本認識として、『分割・民営化』を前提として59年度末で22兆円に達する累積赤字について、国鉄の企業として破綻を示すものとして、こうした破綻の原因、背景を一九五五年以降、いわゆる高度成長時代から他の交通機関の発達に経営が即応できなかった構造的欠陥、あるいは公社という制度の下で巨大組織による全国一元的運営を行ってきた結果であるとして政府・自民党・財界が国鉄を喰いものにしてきた結果としての「赤字」について何ひとつ触れず完全に覆いかくしている。

## 大量首切りを強行し「分割・民営化」へ

第二にそのために「当面緊急に構ずる措置」として、①より大幅な要員の削減が必要であり、その結果生ずる余剰人員の雇用対策をおしすすめ、八四年度末二八万七千人とし、なお私鉄なみの生産性を前提とした効率化をおしすすめる。このような措置をとった場合、国鉄が将来にわたって生き残っていくために「分割・民営化を実施するため」現在実施しようとしている「三本柱」を確実に実施し、さらに拡大することが必要である。

②用地を最大限債務償還に充当するとして、国鉄が将来最小限に必要な事業用地を仕分けしたうえで、非事業用を早急に処分し、長期債務の償還に充当するべきである。③地交線・貨物輸送・自動車事業の分離の早期化が必要であり、バスへの転換以外は早急に切り捨て、貨物輸送・自動車事業は無条件で分離すること。④管理機構の見直しとして、職場の管理機能の強化と職員に対す

る職員たる意識を教育し、職域を越えて職場改善意欲の高揚をはかり、その重点として職場規律の確立は、企業存立の基盤であり、今後も徹底化せよ。としている。

## 全国鉄労働者は反撃に決起しよう

以上が「第二次緊急提言」の要旨であるが、わが動労千葉は、この中曽根内閣＝「再建監視委員会」＝「緊急提言」が「第一次提言」（昨年八月）にひきつづき、さらに「分割・民営化」の方向を明示したものであり、累積した莫大な長期債務＝「赤字」の総てのつけを、労働者・人民に負担させ、ローカル線の全廃化と貨物輸送を完全に切り捨て、とりわけ大量の首切りをおこない、これを条件にして「分割・民営化」を強行するという断じて許すことのできない「提言」であることを見据え、怒りをもって弾劾すると同時に、これら政府・監視委員会・国鉄当局の攻撃と真向から対決し闘う決意である。

（8月11日、商業新聞）

# 国鉄再建監視委(8/10) 「第二次緊急提言」も怒りをもって弾劾する

### 国鉄の分割 民営化明示

再建監視委が第二次緊急提言

#### 債務は国民負担も

経営の効率化が前提

現計画の数倍必要

国鉄労働者に労働強化と首切りを、国民に運賃値上げと22兆円債務のツケを…。結局政府・財界が支配者だけがウマイオを…。